



田中 実さん（55歳）
山崎町上ノ下

質問 宍粟に来られるまでは、何をされていたんですか。

田中 生まれは山口県ですが、就職した会社は関西一円にあって、5年間に8回も転居したりしました。私は、もともと理数系の人間でしてね。会社では技術屋さんで人とあまり関わりのないコンピュータと数字の世界で働いていました。眠るのが1日3～4時間ということもしょっちゅうでした。



質問 なぜ、NPO法人設立という、こういう分野に足を踏み出されたんですか。

田中 49歳のとき、「50歳になると会社の『早期定年優遇制度』の対象になるなあ」と思ったのがきっかけになりました。子どもが巣立って女房と2人きりになった老後のことを考えるようになりましてね。女房がデイサービスで働いていたこともあって、理想の施設を作ろうと思い立ちました。一旦、アクセルを踏むと緩めない性格でしてね。50歳で退職し、そこから2年間福祉の専門学校に通って社会福祉主事と介護福祉士の資格を取りました。そしてデイサービス開業にむけて物件を探していたところ、この宍粟の地にたどり着きました。



木と紙と土と畳のデイサービス「ふる里」

質問 宍粟に来てどうでしたか。

田中 大阪のようなコンクリートとアスファルトばかりのところに住んでいたので、このような自然の中で木と紙と土と畳でできた家に憧れました。道を歩いとったら「田中さん、大根と白菜持って帰り」と声をかけてくれるような、人と人の心のふれあいがあるこの地が大好きです。



まきストーブは「ふる里」の家を暖かく演出します

質問 木と紙と土と畳でできた家でのデイサービス「ふる里」、夢の実現ですね。



庭では子どもたちがトランポリンで遊んでいます

田中 デイサービス「ふる里」の開業から2年半。ようやく軌道に乗りかけているかなというところです。でも、私の夢は、高齢者だけでなく知的障がいや身体障がい、精神障がいがある方などが障がいの種別など関係なしに集え、穏やかに明るく自由に過ごせるような「ふるさと村」をつくることです。実現するにはまだまだですが夢をあきらめずがんばります。

田中さんに話を伺いにデイサービス「ふる里」を訪ねると、15年前に神戸から山崎町に移住された方に会いました。田中さんも先輩の存在に励まされたそうです。「人生の楽園」を宍粟の地に求める人たちにもやさしい宍粟であってほしいと思います。
(山崎支部 阿曾秀樹)

宍粟市の福祉指標

(2月28日現在)

市民局	人口	65歳以上人口	高齢化率	H20.3月末高齢化率
山崎	25,666	6,068	23.6%	23.4%
一宮	9,996	2,816	28.2%	28.0%
波賀	4,511	1,422	31.5%	31.3%
千種	3,696	1,190	32.2%	31.9%
全体	43,869	11,496	26.2%	26.0%

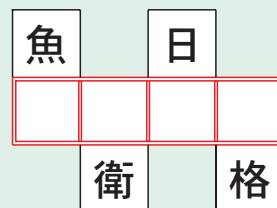
資料は宍粟市福祉部提供

応募方法

はがきに、答えと住所、氏名を記入して、お送りください。正解者の中から抽選で5名の方に粗品を進呈します。
〆切り：平成21年3月31日
送り先：〒671-4137 宍粟市一宮町間賀300番地 宍粟市社会福祉協議会

前回の答えは『生活福祉資金』でした。たくさんのご応募ありがとうございます。正解者の中から抽選で右の5名の方が当選されました。おめでとうございます。(敬称略)

□にあてはまる漢字4文字を考えてください。
ヒント：紙オムツや尿とりパットのこと



No. 45 puzzle

大久保徹夫 (山崎町) 大坪スエノ (山崎町)
谷井 正八 (山崎町) 山本 昭 (一宮町)
古野 光子 (波賀町)

※当機関紙に掲載している氏名及び写真等については本人の承諾を得て掲載しています。
※この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部を活用し、作成しています。